

「幸せを運ぶ仕事」

株式会社アスブルンド 212キッチンストア札幌店

水木揮代

その日はイベント中で店内は大変混雑した休日でした。レジにはお会計を待つお客様で行列。レジスタッフもお客様を少しでもお待たせしないように、通常の倍の人数で対応していた日でした。

そこへ一本の電話が鳴りました。「買ったはずのケーキスタンドが入っていません！」というお客様からの内容でした。

「携帯電話で話しながらお会計しちゃって、その場では気がつかなくて……」お申し出内容と共にレシートを確認していただいたところ、買ったと思っていたケーキスタンドはお会計されていませんでした。カウンターに預けたケーキスタンドをレジで買い忘れたということだったのです。

「今日それを使う予定で、朝から旦那さんと手分けして色々探し回って、やっと理想的なものに出会えたんです。電話の相手も旦那さんで……」

お客様の声の感じから、とても慌てた様子と困った感じを伺えたので、私は店内の様子を確認しながらも、思わず、「分かりました！お届けします。」と言ってしまっていたのです。

実はこの日はまさに猫の手も借りたいくらいの混雑ぶりで、この日のために短期アルバイトで増員したいほど。しかし、私が居なくてもスタッフ達が頑張ってくれる！という確信がありました。

幸い、お客様宅は往復一時間かからないような場所でしたので、直ぐにお届けに向かうことができました。お客様に無事商品のお渡しが終わえ、帰ろうとしたところ、「あの、今日は娘の三歳のお誕生日なんです。それで、お父さんが手作りケーキを作ってくれて、そのケーキをどうしてもこのケーキスタンドに置いてお祝いしたかったんです。是非、作ったケーキを見てもらえませんか！」

お持ち頂いた手作りケーキには沢山のフルーツと、「三歳おめでどう！」と書かれた、お子様がすきであろうプリキュアのチョコレートプレートが飾られていて、愛情いっぱいなの、ととっても、とっても素敵なおケーキでした。特別なケーキに、特別な演出をしたいという、ご両親の愛情いっぱい思い。＼そっか！それにはこのケーキスタンドがどうしても必要だったんだ！＼お子さんの成長が何よりも喜ばしく幸せなこと。ご両親の深い愛情にとっても感動してしまいました。

そして、「お子様はもちろん、お母さまも、お子様三歳おめでとういいます。」とお伝えしたところ、目に涙を浮かべてらっしゃったのが印象的でした。

お客様が商品を買った後の事、滅多に知ることができません。しかし、どのお客様にも『商品を選ぶこと』に色々な想いやストーリーがあると思ったり、日々私たちがそこに携わらせてもらっていることに責任を感じ、それと同時に少し誇りにも思えました。

このことで販売という仕事は、お客様に『幸せを運ぶ仕事』なのだを教えて頂きました。

それを知ただけで今日も自然と笑顔になります。

お客様に感謝です。